

## 情報処理概論 Q&A

**Q USBは講習に出ない人も買うんですか。**

A 全員準備して下さい。この講義の課題等を保存しておく必要があります。

**Q コンピュータとパソコンって違うんですか。**

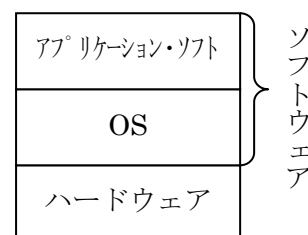
A パソコン（パーソナル・コンピュータ）は、パーソナルユースに特化したコンピュータ、つまりコンピュータ全体の中である種の役割を持ったコンピュータに過ぎず、それ以外のコンピュータとしては、銀行の決算システムを行うなど大規模な業務向けの大型コンピュータ（汎用機）、天気予報や様々なシミュレーションなど計算量の多い科学技術計算用のスーパーコンピュータ、ネットワークや企業の中核的な業務に使われているワークステーション、自動車や家電などの制御に使われている特殊用途のコンピュータなど、実に様々なものがあります。自分が目にするものだけが全てだとは思わない方がよいでしょう。

**Q OS関連**

A OSに関することが分からなかったということですかね。OS そのものの役割など、詳しい話は講義で申し上げたように、1学期の最後の方で説明します。現時点で知っておいてもらいたいのは、WindowsやAndroidというのがOSのことであり、OSはハードウェアとアプリケーション・ソフトの間を取り持つ（重要な）役割を持っているという程度です。

**Q（右図で）どこが最初に動いて、命令していくのがわかりにくかったです。**

A アプリケーション・ソフトが起動している状態で、ユーザが何か操作する、例えばキーボードからな文字を打ち込む、画面のどこかをマウスでクリックするというところを行った場合、キーボードやマウスそのものはハードウェアですが、その操作がコンピュータに伝えられると、それをOSが処理します。と言っても、このキーが押された、マウスポインタがどこそこにある状態でクリックされた、あるいは、このボタンがクリックされたという情報をアプリケーション・ソフトに伝えるといった程度の処理です。ここまでは、どのような操作が行われたのが単にアプリケーション・ソフトに伝わったと捉えていいでしょう。その情報に基づいて、どのようなことを行うかはアプリケーション・ソフトにプログラムされており、それをコンピュータに実行させます。この場合のコンピュータは直接ハードウェアということではなく、OSです。OSに対して、これこれのことを行えという命令を伝えます。それをOSが（何らかの変換などを行った上で）ハードウェアに伝えます。ということで、ユーザの行った操作に基づいて命令するのはアプリケーション・ソフトということです。それを実行する際に、直接ハードウェアに命じるのではなくOSを介して行っている、何故そのような方法を採用しているかについては講義の終盤で説明します。



**Q “マイナーチェンジ”とはどういった変化のことを指しているのですか。**

A プログラムの場合は、その本質的、中核的な部分はそのままにして、それ以外の周辺的な部分の改変や機能の追加など程度がマイナーチェンジです。

**Q 筐体とハードウェアはいずれも機械そのもののように聞こえたが、同じ意味なのか？**

A 筐体は入れ物、箱のことです。その中にハードウェアが入っています。

**Q スマホには内部メモリは使われていないんですか？内部メモリのかわりにSSDなのか、内部メモリとSSDなのかわかりません。**

A スマホの場合は、1つのSSDが内部メモリの用途にも使われ、外部記憶装置としても使われているということです。こうすることによって装置が小型化でき、おそらく消費電力も少なくて済むでしょう。また、一般のコンピュータで使われている内部メモリは、電源を落としたりしたとき、その情報が消えてしまうのに対し、SSDでは情報が残ります。

す（USBメモリなどと一緒に）。従って、一度利用を止めて、次に使い出すとき、パソコン等では再びソフト（OS及びアプリケーション・ソフト）など読み込むということから行わなければならないので、一定の時間がかかりますが、スマホでは素早く立ち上がります。ただ問題としては、一般のコンピュータで使われている内部メモリ専用の記憶用ICに比べ、SSDは低速となってしまいます。従って、処理速度そのものはパソコンに比べるとだいぶ遅くなってしまいます。また、これはスマホが小型の装置だけでしょうが無いのですが、（外部記憶装置の）記憶容量が余り増やせないという問題もあります。この辺をどうするかは、それぞれの機械を何に使うのか、それに沿ってどのようなバランスにするかの問題でしょうね。まあ、今後の技術革新によっても変わってくるでしょうが。

**Q パワーポイントの説明が少し早かったため、メモが間に合わなかった。**

A スライドの切り替えが早かった場合は、講義でも申し上げたように、具体的にどのスライドでそうだったのか（たくさんあった場合は、そのうちのいくつかでも構いません）をお知らせ下さい。何か適当に分かるようなメモ程度で構いません。そうしないと、なかなか対応が難しいもので。

**Q 初回出席することができなかったのですが、課題やテストの話はされましたか？**

A 1回目は全体的な概要の説明でしたので、課題やテストを含めざっくりとどんなことを行うか、評価の際、それらをどの様に扱うかという話をしました。課題やテストそのものについては、今後も繰り返し話すかと思っておりますので、講義を聴いてもらえれば、それほど問題は無いかと思えます。そのほかについては、シラバスに書かれているような内容です。

**Q 昨年分だけでも過去問はもらえないでしょうか。**

A 過去問については、もう少ししてから、昨年度分と一昨年度分を配布する予定です。

**Q 授業のHPが見れません。**

A アレ、全然見られません？いや、実は、今年度については大学の学生用PCが更新されたため、それに伴う資料の変更を追われていてHPの更新をしていなかったのですが、見られないということではなく、内容が古かったということじゃないかと思うのですがいかがでしょうか。ページそのものが見えなかったとすると、どこかからのリンクが切れていたということでしょうか。私の所からはアクセスは可能で、今、シラバスからのリンクも確認してみました、アクセスできました。HPそのものにアクセスできなかった場合は、どのような状況でアクセスできなかったのかをお知らせ下さい。内容については、ようやく更新しました。

**Q 室温が高くて、集中して話を聞くことができなかったため、空調を確認してほしい。**

A このほかにも暑かったという意見がいくつか寄せられました。まだこの時期だから大丈夫だと思っていたのですが、人がだいぶ多かったので、こちらで思っていた以上に室温が上がったかもしれません。ただし、現段階で冷房を利用することは考えていません。まず、あの教室で使われている冷房は集中管理方式のため、大元で冷房、暖房を切り替えています。現在は暖房となっているので、教室レベルで冷房にすることはできません。更に、現在新潟大学では積極的に省エネに取り組んでおり、夏場は下限 28℃、冬場は上限 20℃で冷暖房を使うことにしています。まだ、そこまでは上がってなかったでしょうね。で、問題はこれからです。教室が一定の混雑状況にありますから、室温が上がるのが予想されます。一つの解決策は定員を減らすことですが、そうすると経済学部の方を含めて聴講制限が出てきます。聴講者が少ない方が私自身も楽ですから、皆さんが望むのならば考えますがいかがでしょうか。次の対応は着るもので対応です。室温が上がることを見越して、上着等が脱げるような服装を考えてみて下さい。それと、あの教室、前の方が幾分涼しくなります。暑いのが苦手な人は涼しい場所を選んで着席して下さい。また、私の方としても、積極的に窓を開けるなどの指示を出したいと思えます。しかし、冷房を一切使わないとっているわけではありません。最大限の努力をした上でも冷房を使わなければならない状態であるならば冷房を利用します。そのため、講義の際に教室の中央に温湿度計を置こうと思えます。この温度に応じて、冷房等の対応はしたいと思えます。